

市民協働推進事業補助金報告会審査会委員総評

審査委員長	岩崎恭典氏	四日市大学教授
審査副委員長	桜井温子氏	特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズ
審査委員	田中寿美氏	北名古屋市民
審査委員	能村義則氏	北名古屋市役所総務部長

- ・今回、市民の皆さんが横に^{つな}繋がりが、北名古屋市がいい町となりつつあると思います。例えば、高齢者や障がいをお持ちの人たち、また、子どもたちを対象とするなど、対象者を共通としている人達が集まり、それぞれやっていることを交換しあって、それが次の展開に繋がっていくというよい循環がうまれる期待を持ちました。
- ・報告の中で、共通した課題として広報があります。
講演録を作るなど地道な蓄積を残しておくことが重要で、それを知らせることで、横につながっていき、うまくいくのではないのでしょうか。
- ・大きな目標をもち、その目標を示すことが重要です。認知症予防や子ども向けの事業では、北名古屋は子育て環境がいい、お年寄りが安心して暮らせるという評判によって、若い人が住みやすく、お年寄りが暮らしやすいということにつながり、結果的には人口の増減で示されることにより、人口の減少、高齢化に少しでも歯止めをかけることが大きな目標となるのではないのでしょうか。
- ・補助金の規定により事業内容を変えられなかったという報告がありました。
やりたい事業があって補助金を申請したのであれば、企画内容が変わる場合はあるかと思いますが、他の皆さんへの説明責任を果たせる範囲であれば、やりたい事業を実施することも可能だと思いますので市民活動推進課へ相談をしていただきたいと思います。